

1 景観基本計画区域の設定

市全域で良好な景観形成を推進していくため、計画対象区域は市内全域とします。

2 景観形成の基本理念と目標

(1) 基本理念

三方を海に囲まれ、温暖な気候、山などの豊かな自然環境に包まれた渥美半島で、田原にしかない豊かな景観資源を次世代に引き継ぐための基本理念を、以下のように定めます。

ガーデンシティ(田園都市)の景観づくり

—市民の手により自然景観を守り育み、自然と調和した産業景観と美しく快適に暮らせる都市景観の創出—



“ガーデンシティ”とは、産業革命による経済優先の劣悪な都市環境にあった百年前のロンドンで提唱された都市づくりの言葉です。この“ガーデンシティ”が目指すものは、大都市郊外において、豊かな自然環境、農業・工業などの生産の場、生活空間が調和して、持続可能となるようにデザインされた理想都市でありますので、田原市の将来イメージとして用いることとしました。

また、“ガーデン (garden)” という英語は、“庭”や“庭園”の意味のほかに、肥沃な耕作地帯、豊穡・楽園・余暇を象徴する言葉です。(第1次田原市総合計画より抜粋)

(2) 基本目標

基本理念に基づき、ふるさとの景観づくりに取り組む基本目標を以下のように設定します。

目標1：市民による市民のための景観づくりを進めよう！

市民の手により玄関先に花を植えたり、家の周りのゴミを片付けたり、身の回りの簡単なことから身近な景観づくりを始めましょう。自分たちが暮らすまちです。子供たちが暮らすまちです。孫たちが暮らすまちです。自分のためにも、みんなのためにも景観づくりを考え進めましょう。

目標2：先人が創り上げてきたふるさと景観を守り育み、そして継承しよう！

田原市には豊富で素晴らしい自然的資源、多様で多くの歴史的資源や文化的資源があります。これらは長い時間をかけて先人が創り上げてきた大切なものです。

どこの地域でもそこにしかない歴史があります。地域らしさはすぐにはできません。長い時間をかけて培われてきたものです。日常の何気ない景観にも歴史があるはずで、自分が住んでいる地域に目を向けてふるさとの景観づくりを始め、継承しましょう。

目標3：おもてなしの心で、心癒される美しい景観を守り、そして創ろう！

市外から訪れる人にとっても、何となく懐かしく、また心地良い景観がある渥美半島。ゆっくりたたずんで、潮騒の音や香り、海の動きが感じられる海辺、渥美半島を感じられる山並みや農地の大パノラマ、市街地からも身近に感じられる自然豊かな山並み。

これらの豊かで多様な自然景観を守るために、不必要で派手な屋外広告物や自然景観、低層の集落などと調和しない建物や工作物などは見直して、うるおいと活力あるガーデンシティに調和する田原市を創造しましょう。

3 エリア別景観形成の方針

(1) エリアの設定

市内の景観特性や土地利用の現況に配慮しながら計画対象区域を区分し、それぞれの区域ごとの特性を活かすための考え方や必要な事項（方針や行為の制限）を定めます。

1) 計画対象区域の区分の考え方

田原市の主な景観資源は渥美半島の至るところに分布しており、その特性ごと図示したものが下図です。

市内には海浜やその周辺、蔵王山等の山並み、本市の基幹産業である農業地域に点在する市街地や集落があり、こうした面的な広がりをつかえ、市内を「海の景観エリア」「山の景観エリア」「農の景観エリア」「まちの景観エリア」の4つに区分することとします。

また、田原市の景観資源を眺める重要な骨格軸として、特に車や人の通行の多い国道及び鉄道沿いを「沿道景観軸」、市内における主要な河川を「河川軸」と位置付けます。

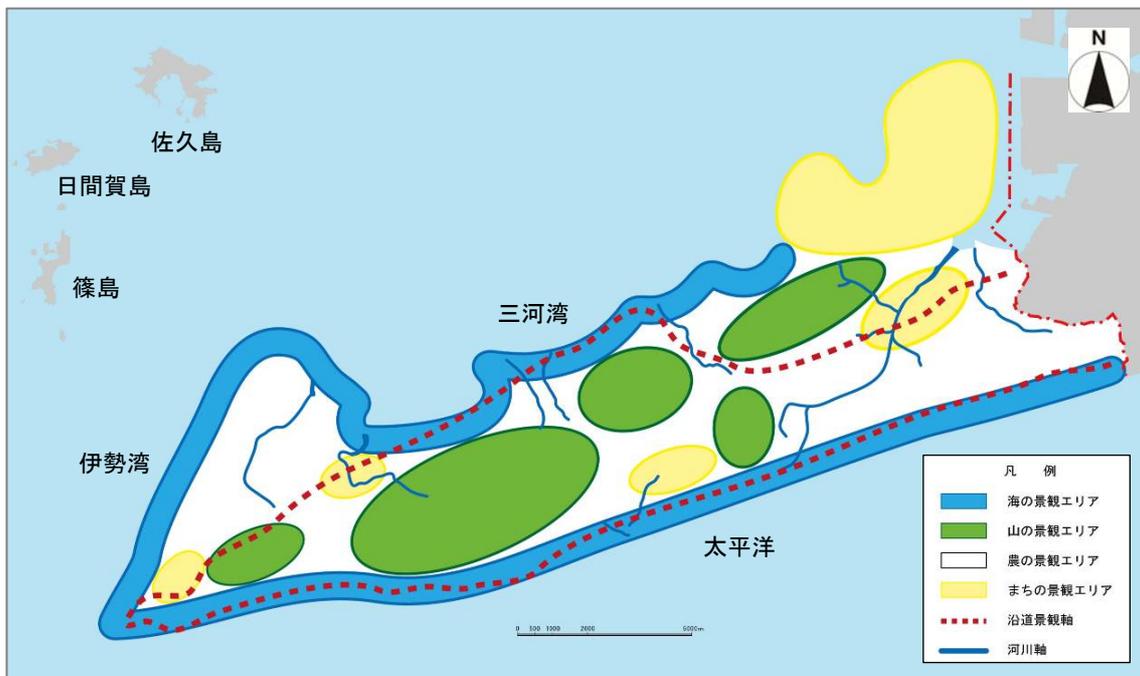


図 2-1 景観エリア及び景観軸（概略図）

エリア名	名称等
海の景観エリア	白谷海浜公園、仁崎海水浴場、汐川干潟、福江干潟、貝ノ浜、西ノ浜、恋路ヶ浜、太平洋ロングビーチ、新井海岸、伊良湖岬、一色の磯 等
山の景観エリア	蔵王山、衣笠山、藤尾山、雨乞山、大山、城山、文化の森 等
農の景観エリア	村松町、中山町、和地町、赤羽根町、野田町、六連町 等
まちの景観エリア (市街地)	田原、福江、赤羽根、臨海工業地帯の市街化区域
まちの景観エリア (集落地)	白谷町、宇津江町、中山町、小中山町、日出町、高松町、大草町、加治町、伊良湖町 等
沿道景観軸	国道 42 号、国道 259 号、豊橋鉄道沿線
河川軸	汐川、免々田川、天白川、池尻川、清谷川 等

2) 景観エリアとエリア別土地利用規制区域

景観形成を具体的に進めるため、1) で区分したエリア及び軸について具体的な範囲を設定し、その設定にあたっては、現在、他法令で法規制されている区域を元に設定します。



図 2-2 景観エリア及び

■エリア別土地利用規制一覧

エリア名	区域の範囲	自然公園区域			農業振興地域内農用地区域		市街化区域	市街化調整区域
		三河湾国定公園(特別保護区)	三河湾国定公園(特別地域)	渥美半島県立自然公園(特別地域)	農業振興地域内農用地	白地地域		
海の景観エリア	普通地域及び山地部分を除く自然公園区域	○	○					○
山の景観エリア	海、農、まちの景観エリア及び沿道景観軸以外の区域		○					○
農の景観エリア	農業振興地域内農用地区域			○	○			○
まちの景観エリア(市街地)	市街化区域						○	
まちの景観エリア(集落地)	農業振興地域内農用地区域外					○		○
沿道景観軸	R42,259の道路端から100m及び豊橋鉄道の軌道端から100m	○	○		○	○	○	○
河川軸	河川区域から10mの範囲				○	○	○	○



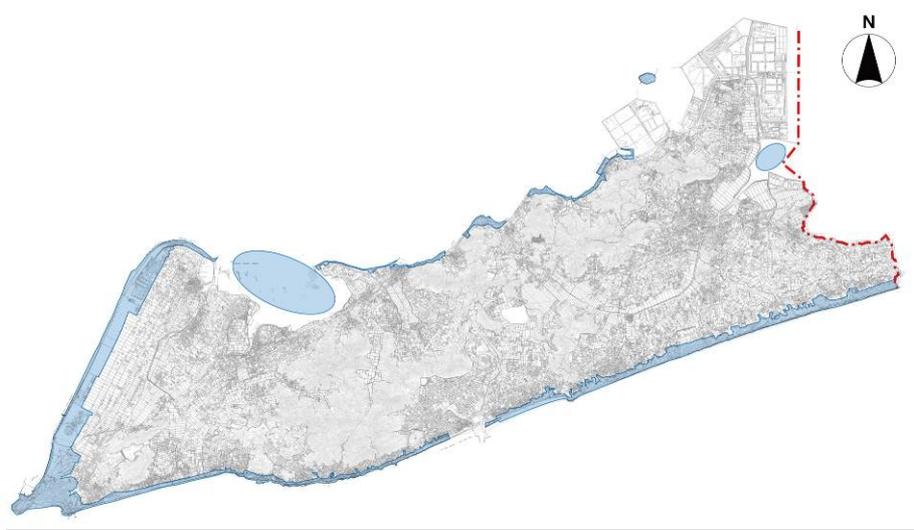
景観軸(詳細図)

(2) エリア別景観形成の方針

1) 海の景観エリア

① エリアの範囲

普通地域及び山地部分を除く自然公園区域の範囲



② エリアの現状及び課題

【エリアの現状】

- 渥美半島は三方を海に囲まれており、生業としての海岸景観が特徴的な内海と、太平洋ロングビーチや海食崖が特徴的な外海等の景観が見られます。また、海岸沿いや海食崖上部、港等市内の至る所から海を眺めることができます。
- 恋路ヶ浜や伊良湖開拓海岸防災林など、白砂青松の景観が残る海岸がありますが、松くい虫等の被害が出ています。
- 海岸沿いには漂着ゴミが見られ、海岸景観を阻害しています。

【課題】

- 渥美半島をとりまく海岸や海浜景観の保全が必要であり、その中でも、弥八島（ロングビーチ）や新井海岸（高松新井化石層が有名）、天然の磯等田原市の中でも特徴的な景観について保全が必要です。
- 海岸沿いの松林の保全及び傷んだ松林の再生が必要です。
- 海岸に漂着するゴミ対策が必要です。
- 山や丘等からも海岸を眺めることができますが、海岸沿いや海食崖上部、港等から海岸や夕日、朝日等の景観を眺望できるように、海を望む視点場づくりが必要です。

③エリア別の景観形成方針



太平洋ロングビーチ



伊良湖岬灯台



三河湾での潮干狩り

「美しい自然景観の保全」の視点

- ・太平洋の荒波が打ち寄せる表浜海岸は、大自然の雄大さが見られる特徴的な景観であることから、その保全を図ります。
- ・特に、伊良湖岬周辺や太平洋ロングビーチ周辺は重要な景観資源であることから、自然景観の保全に加え、より美しくする景観づくりを進めます。
- ・海岸沿いの美化として、漂着ゴミの対策や傷んだ松林の再生を図ります。また、松林の再生に合わせて津波対策の実施を検討します。

「歴史的景観の継承」の視点

- ・表浜海岸では、幕末の海岸防備の施設や第2次世界大戦の戦争遺跡が数多く残されていることから、これらの歴史的資源を次世代に継承する景観づくりを進めます。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- ・海苔の養殖等の生業の場である内海側については、干潟や養殖風景の保全を図ります。

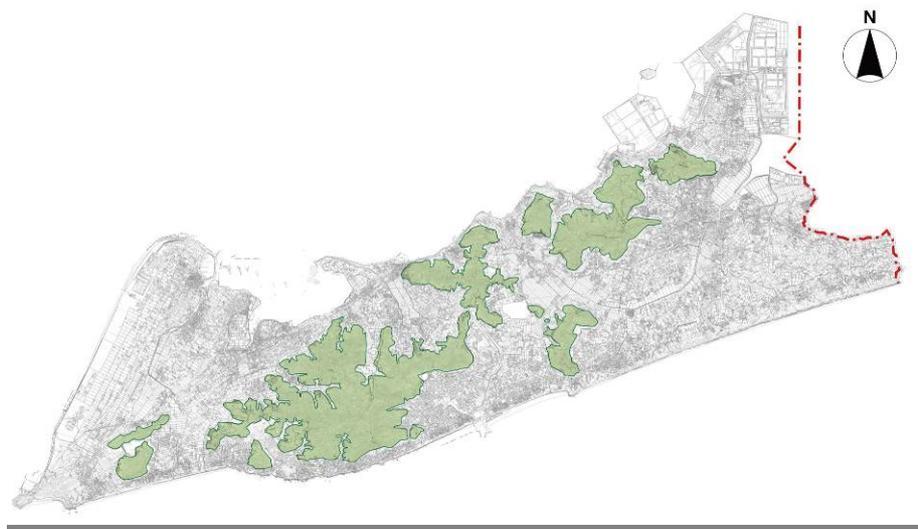
「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- ・伊良湖岬を始め数多くの眺望ポイントが海沿いに分布しており、これらのポイントを「視点場」として位置付け、そこから眺める景観の保全や改善を進めます。また、視点場へのアクセス路や視点場の安全性等を確保します。

2) 山の景観エリア

①エリアの範囲

海、農、まちの景観エリア及び沿道景観軸以外の他区域



②エリアの現状及び課題

【エリアの現状】

- 蔵王山や大山をはじめ、まとまりのある山地は渥美半島の景観を支える重要な景観的要素となっています。また、山頂では、山や海等の自然景観とまちなみ景観を同時に眺めることができ、田原の景観を俯瞰することができます。
- 宮山原始林や椴のシデコブシ、黒河湿地等天然記念物として指定されている区域があります。
- 山の地肌が見え、緑豊かな自然景観と山並みの連続性が損なわれているとともに、主要な視点場からの眺望景観が損なわれています。
- ランドマークとなる山や風車が、数多く分布しています。
- 竹ヤブの増加など、森林の質が低下しているところも見られます。

【課題】

- ランドマークとなる蔵王山や大山をはじめまとまりのある山地景観は、渥美半島の景観を支える背骨として、その緑地保全が必要であるとともに、本市の骨格となる景観を臨む視点場の整備が必要です。
- 宮山原始林や椴のシデコブシ、黒河湿地等の天然記念物として指定されている区域では、それらの区域だけでなく周辺景観も含めた景観コントロールが必要です。
- 緑豊かな自然景観と山並み景観の連続性の保全や眺望景観としての山並みの保全を図るため、土取場対策が必要です。
- ランドマークとなる山や風車はその象徴性や独立性を保てるように、ランドマーク周辺の景観保全が必要です。
- 樹林地については、良好な植生の維持を図ることが必要です。

③エリア別の景観形成方針



蔵王山から見た市街地



蔵王権現



広がりのある農地と山並みが調和した景観

「美しい自然景観の保全」の視点

- ・ 渥美半島の山地は、海沿いやまちなかのいろいろな方向から眺めることができるランドマーク的な山地景観を形成しており、特に、山裾に広がる農地や海浜と一体となった山並みの風景は渥美半島の大きな魅力であることから、山の緑のまとまりや連なりの保全を図ります。
- ・ 貴重な植生が残る保存エリアについては、その周辺の緑地を含めて保全を図ります。

「歴史的景観の継承」の視点

- ・ 山地には、古墳、陣地、社寺等が分布していることから、これらの歴史的資源を次世代に継承する景観づくりを進めます。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- ・ 緑の質の低下を防ぐための里山づくりを市民参加で進めます。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- ・ 山頂等は田原市の景観を眺める「視点場」として位置付け、そこから眺める景観の保全や改善を進めます。また、視点場へのアクセス路や視点場の安全性等を確保します。

3) 農の景観エリア

①エリアの範囲

農業振興地域内農用地区域の範囲



②エリアの現状及び課題

【エリアの現状】

- 田原市の代表的な農作物であるキャベツ畑や、温室等が市内の至る所に分布し、広がりある農地景観を形成している一方で、耕作放棄地が増加しており、また、農地景観を阻害する構造物等も立地しています。
- まとまりのある温室景観の広がり、田原市固有の景観の特徴の一つとなっていますが、国県道の沿道において一部廃温室等が見られます。
- キャベツやブロッコリー、菜の花等の農地景観は、四季の移ろいとあわせて多様な表情を見せており、観光写真としても紹介されています。

【課題】

- 農地景観の保全が必要です。
- 耕作放棄地や休耕地及び廃温室や高圧鉄塔等の構造物はまとまりある農地景観の阻害要素となるため、農地景観を妨げないようその対策が必要です。
- キャベツ、ブロッコリー、菜の花等の農地景観は、四季の移ろいと併せて農地の景観に変化をもたらせており、このことを広く愛着を持って頂くため、景観資源として活用し、PRすることが必要です。

③エリア別の景観形成方針



電照菊



温室群



キャベツ畑



菜の花畑

「美しい自然景観の保全」の視点

- ・当該エリア内に残存する樹林地、ため池、河川等の自然的要素は、農の景観にうるおいを与える重要な景観資源であることから、その保全を図ります。

「歴史的景観の継承」の視点

- ・当該エリア内には、貝塚、古墳、中世の城館等の文化財が分布していることから、これらの歴史的資源を次世代に継承する景観づくりを進めます。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- ・まとまりと広がりのある農地景観を維持するためには、農業経営が健全に行われることが必要であるため、今後も農業の振興を図ります。
- ・耕作放棄地や休耕地の有効活用や廃温室を改善し、農地景観の魅力向上を進めます。
- ・まとまり感や広がり感に満ちた農地景観を維持するため、建築物、工作物、屋外広告物等の立地を適切に誘導します。
- ・四季をアピールする観光資源として、農地景観を活用します。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- ・当該エリア内に存する公園や観光施設等を、広がりある農地景観を眺める「視点場」として位置付け、そこから眺める景観の保全や改善を進めます。また、視点場へのアクセス路や視点場の安全性等を確保します。

4) まちの景観エリア（市街地）

①エリアの範囲

市街化区域の範囲



②エリアの現状及び課題

【エリアの現状】

- 市街地にあつては社寺林や屋敷林は緑の景観を構成する大切な要素となっていますが、周辺の市街化調整区域に比べると緑量が少なく感じられます。また、市内の観光地や人の集まる場所は、花や緑が不足しているところが見られます。
- 空き店舗や廃屋等は防犯面だけでなく、まちの活気や雰囲気でもマイナスとなる景観要素であり、市街地内において徐々に増加しています。また、身近な景観と調和していない工場等が立地している地域も見られます。
- 市街地内には歴史的建造物（社寺、産業遺産、個人住宅等）が残されており、地域の景観に併せて周辺整備が行われていますが、まだまだ多くの景観資源が埋没しており、景観的にもつながりが薄くなっています。
- 蔵王山や白谷海浜公園等の視点場から本市の基幹産業である工業地帯が望見できます。
- 工場周辺では緑化が進められています。
- 田原市の玄関口である三河田原駅周辺では、都市計画道路や駅前広場、駅舎の改築が予定されています。

【課題】

- 公共用地だけでなく、民地についても積極的に緑化するなど、市街地におけるまちなみ景観の創出が必要であるとともに、社寺林や屋敷林の保全及び緑量の増加による景観の質の向上が必要です。
- 空き店舗や廃屋等への対応や、地域の個性を活かした景観づくりを推進するとともに、地域の景観と調和していない景観阻害要素については改善が必要です。
また、農地景観や山地景観と調和するような市街地景観を創出するとともに、歩きながらまちを楽しめる景観づくりが必要です。

- 田原城跡周辺、福江城坂周辺、赤羽根集落周辺において、歴史資源の掘り起こしや景観資源の保全創出、歴史的な視点をとらえた景観まちづくりが必要です。
- 工業地については、大規模な工場等の産業としての景観が眺められ、これらの人工的な建築物と周辺の山や海の自然景観と調和した景観形成が必要です。
- 三河田原駅の再整備に合わせた田原市らしい駅前景観の創出が必要です。

③エリア別の景観形成方針



生垣と石積みが特徴的な街の景観



良好な市街地景観



緑豊かな工場地景観

「美しい自然景観の保全」の視点

- ・市街地内に存する社寺林や屋敷林及び河川等の緑地は、まちの景観にうるおいを与える重要な景観資源であることから、その保全を図ります。

「歴史的景観の継承」の視点

- ・田原城跡及び城下町、福江城坂周辺、赤羽根市街地には多くの歴史的資源が残されていることから、これらの資源を活用したまちづくりを積極的に進め、生活環境の向上やまちの活性化を図ります。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- ・市街地の緑量の増加によるうるおいを高めます。
- ・まちの環境改善や活性化に向けたまちづくりを実施する際には、地域の歴史や現在のまちなみに調和するよう配慮します。
- ・臨海部の工業地景観は、田原市の眺望景観の中でも大きな影響力を有することから、敷地内の緑化や工場の意匠デザイン等に配慮するよう促します。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- ・田原駅前、市役所、観光地等の人が多く集まる場所を田原市の魅力をアピールする「視点場」として位置付け、そこから眺めることのできる個性的、魅力的な眺望景観の保全または創造を図ります。

5) まちの景観エリア（集落地）

①エリアの範囲

農業振興地域内農用地区域外の範囲（白地）



②エリアの現状及び課題

【エリアの現状】

- 市域内に数多く分布する集落地は、同質の建物で構成された一体的な景観を形成しており、また、多くの歴史的景観資源が残されています。
- そのような集落の中には公共公益施設が多く立地しており、地域ごと特色のある建物となっています。

【課題】

- 田原市には多くの地域特性を持った集落が分布しており、今後はその集落単位で個性を磨き、集落としてまとまりのある景観を維持する必要があります。
- 市内では、地域で採れる石材を用いた基礎のまとまりや、屋敷林の多く残る集落など地域独自の景観が見られるため、これらの景観資源の掘り起こしや保全、創出が必要です。
- 古くからの集落では狭く曲がりくねっている道が多く、渥美半島特有の門長屋が見られます。地域の景観資源はできる限り継承し、調和していない景観的阻害要素については改善し、また、緑化や花などにより修景することにより、歩いて楽しめる景観まちづくりを進める必要があります。
- 地域ごとの特色に配慮した公共公益施設のデザインガイドラインが必要です。

③エリア別の景観形成方針



集落景観



白谷の石積みの上に建つ倉



集落景観



趣きのある和風の建物

「美しい自然景観の保全」の視点

- ・ 集落内に存する社寺林や屋敷林及び河川等の緑地は、まちの景観にうるおいを与える重要な資源であることから、その保全を図ります。

「歴史的景観の継承」の視点

- ・ 集落内には地域の生き立ちを物語る歴史的資源が残されていることから、これらの資源の保全と活用を進めます。また、これらの資源を巡ることのできる周遊路ネットワークの形成を図ります。
- ・ 集落形成の歴史から、集落内の建物は同種のデザインのものが多く集積して一団のまとまりを有していることから、このまとまり感の保全を図ります。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- ・ 集落内の環境改善や活性化に向けたまちづくりを実施する際には、地域の歴史や現在のまちなみに調和するよう配慮します。
- ・ 農家の分家住宅等が農地景観や集落景観と調和するよう誘導します。

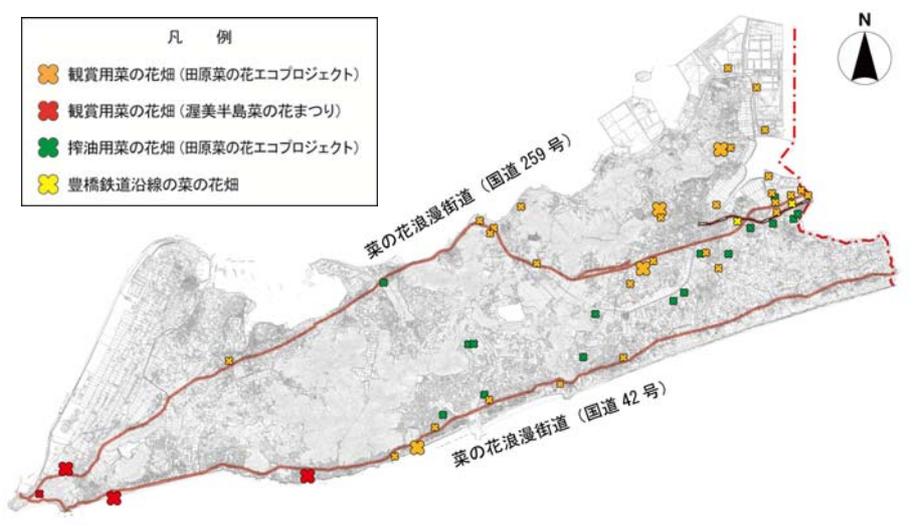
「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- ・ 集落内に存する集会所や公園など、人の集まる場所を「視点場」として位置付け、そこから眺めることのできる個性的、魅力的な眺望景観の保全または創造を図ります。

6) 沿道景観軸

①エリアの範囲

- ・ 田原街道（国道 259 号）及び伊勢街道（国道 42 号）沿道（国道 259 号及び国道 42 号道路端から 100m の範囲）
- ・ 豊橋鉄道沿線（豊橋鉄道軌道端から 100m の範囲）



②エリアの現状及び課題

【エリアの現状】

- 田原市の導入路としての鉄道沿線や、観光地である伊良湖岬へのアクセス路となる国・県道沿道は多くの方が目にする景観ですが、一部で廃屋、廃温室や電線類の錯綜や雑草が多く繁茂している区間が見られます。
- また、特に屋外広告物により、山並みの分断や広がりのある農地の眺望景観、市街地の良好な景観、鉄道沿線からの車窓景観の阻害が見られます。

【課題】

- 移動中に車窓から見える眺望景観の維持・改善が必要であるとともに、特に主要な景観軸である国道 42 号や国道 259 号は、沿道景観の改善が必要です。
- 不要な看板の撤去や、統一看板への集約等による看板類の整序が必要です。また、主要な道路沿道景観や眺望景観の質を高めるために、電柱電線類等の整序が必要です。

③エリア別の景観形成方針



特別地域内の沿道



菜の花畑



国道沿道の農地景観

「美しい自然景観の保全」の視点

- ・道路を新設または拡幅する場合には、沿道の自然景観と調和するよう配慮します。

「歴史的景観の継承」の視点

- ・国道 42 号は伊勢街道、国道 259 号は田原街道であったように、この 2 路線は景観軸であるとともに歴史軸ととらえることができることから、沿道に存する歴史的資源を活用した景観づくりを進めます。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- ・田原市の個性を感じることができるシンボリックな道路景観を創造します。
- ・おもてなしの心を感じる大切な景観軸として、花であふれた沿道景観の形成を図ります。
- ・雑草が枯れ、ゴミが散乱する道路は街のイメージを大きく損なうことから、道路美化活動の推進を図ります。
- ・無秩序な屋外広告物の設置や電線電柱類は、景観形成上の大きな障害要素であることから、広告物についてはその位置やデザイン・大きさを適切に誘導します。また、必要に応じて電線電柱類の整理を行います。
- ・農地の土砂流出を防止し、法面保護を図ります。
- ・自転車道構想や渥美半島菜の花浪漫街道等と連携を図りながら、計画を実行していきます。

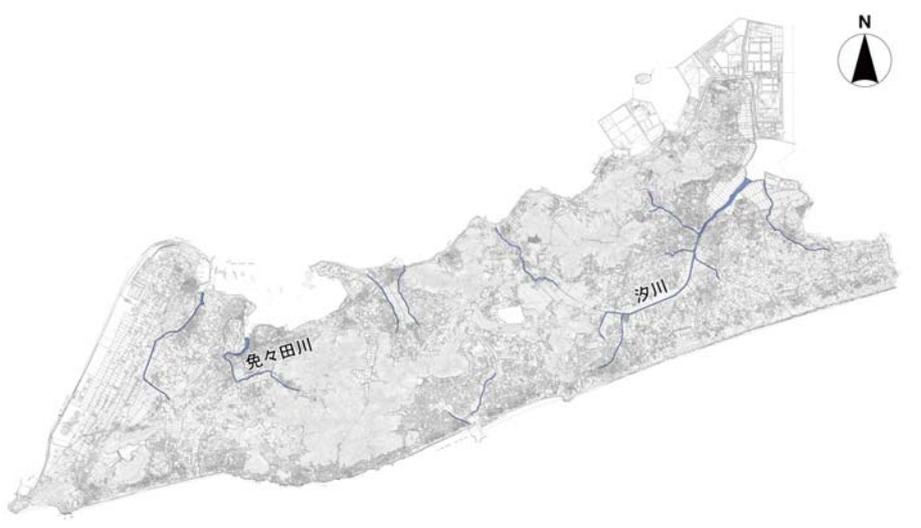
「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- ・雄大な海の景観を眺望することができる視点場を、適切な場所に設定します。

7) 河川軸

①エリアの範囲

- ・ 汐川、免々田川等の河川区域から 10m の範囲



②エリアの現状及び課題

【エリアの現状】

- 河口部や河川敷等には法投棄された船舶等も見られます。
- 汐川沿いの護岸堤防の景観がコンクリート製で自然景観と調和していないものも見られます。
- 一部の河川では、水の汚れによるにおいに対する問題がでており、水質改善が必要です。
- 免々田川沿いでは、菜の花や河津桜の植栽を住民との協働で実施するなど、良好な河川景観づくりに向けた取り組みが行われています。
- 河川沿いの散策路等から屋外広告物が見られます。

【課題】

- 河川景観を阻害するゴミ対策が必要です。
- 干潟、河川の護岸や構造物等の周辺景観への配慮が必要です。
- 汐川や汐川干潟、免々田川等の汚れが問題であり、水質改善が必要です。
- 河川景観づくりを全市的に展開することが必要です。
- 河川沿いの屋外広告物等のコントロールが必要です。

③エリア別の景観形成方針



夕川



清谷川



免々田川

「美しい自然景観の保全」の視点

- ・豊かな自然を有する河川は、都市環境に大きなうらおいを与えることから、生態系の観点に加え、景観の観点からも保全を図ります。
- ・良好な自然環境を維持し、景観的にも魅力を高めるため、河川美化の推進を図ります。

「歴史的景観の継承」の視点

- ・川には古くからの人々の暮らしの記憶があることから、川沿いに残る歴史的資源を活用した河川景観づくりを進めます。

「自然や歴史と調和する生業景観や生活・産業景観の形成」の視点

- ・河川の護岸改修、整備にあたっては、生態系への配慮に加え、景観的視点に配慮し、沿岸地域との調和やうらおい感を創出します。
- ・河川は市民の散歩道として利用されることも多いため、歩きやすい道の整備に加え、川沿いの緑化等により楽しく快適に歩ける環境づくりを進めます。

「景観を楽しむ視点場の形成」の視点

- ・河川堤防のうち、河川と一体となったまちの風景や農の風景を眺めることのできる場所を「視点場」として位置付け、そこから眺めることのできる個性的、魅力的な眺望景観の保全または創造を図るとともに、その視点場へのアクセス路や視点場の安全性等を確保します。

4 特徴的な景観を有している地区の景観形成の方針

(1) 景観重点整備地区候補地の設定

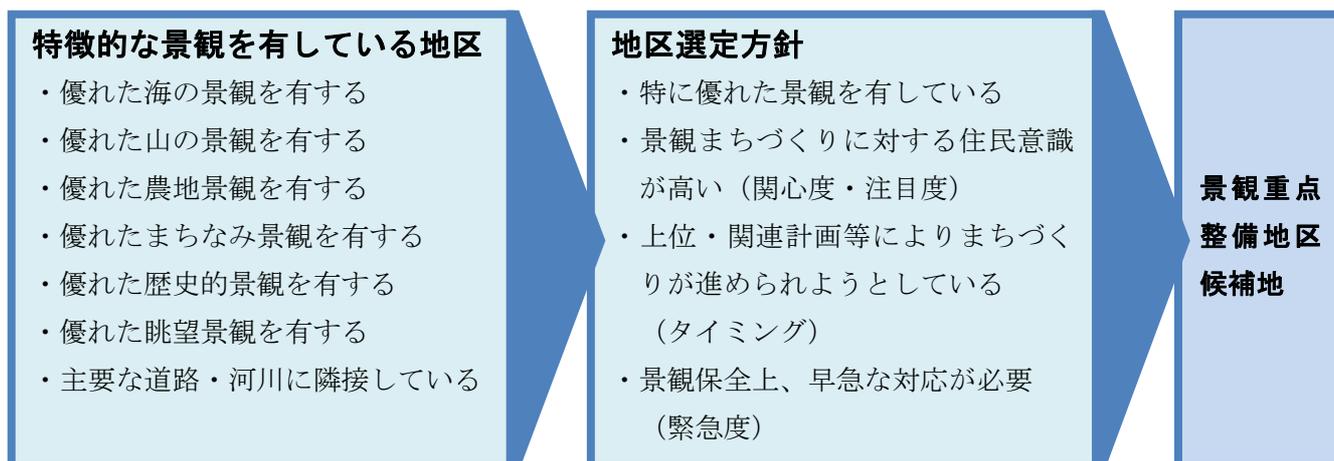
趣きのある集落や歴史的雰囲気を感じられる城下町など、田原市における境界景観の特色は、地区単位で異なっており、今後も引き続き地区独自の良好な景観を保全する必要があります。

一方、今後新たに整備され田原市の顔となるような地区についても、田原市らしい景観の創出に主眼をおいた配慮が必要となるため、本計画において特に地区的な景観形成が必要で、かつ、特徴的な地区を景観重点整備地区候補地として設定し、地域単位で実践的な景観づくりを推進します。

なお、景観重点整備地区候補地ごとに景観づくりに対する方向性、コントロールが必要な基準項目等を例示していますが、その検討にあたっては、市民と一緒に設定します。

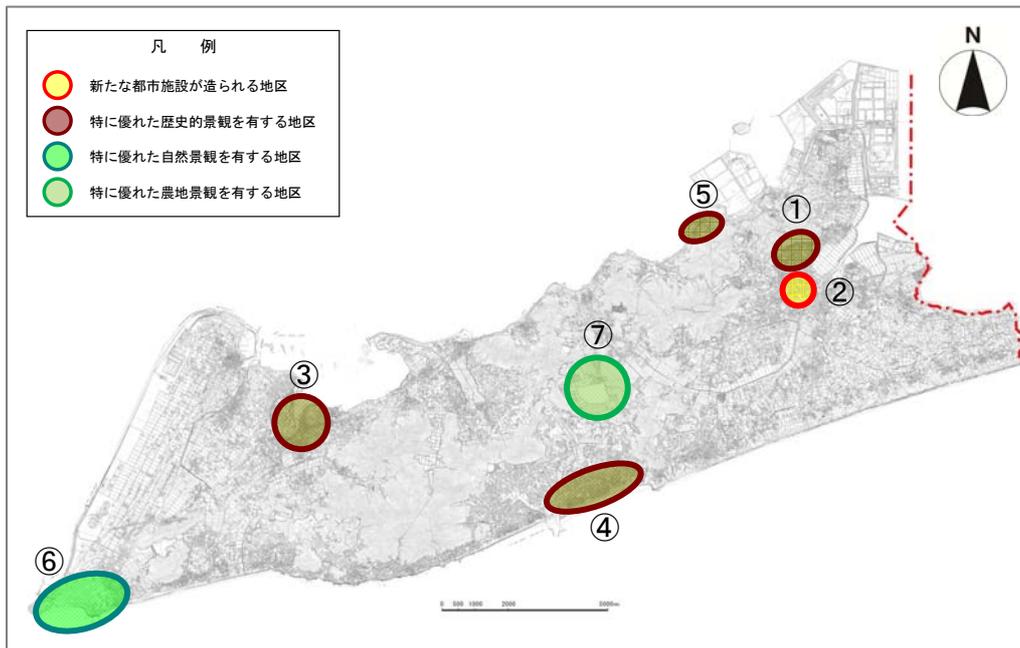
1) 景観重点整備地区候補地の選定の考え方

景観重点整備地区候補地の選定にあたり、下記の視点により選定方針を定め、その方針に該当する地区を景観重点整備地区候補地として設定します。



2) 景観重点整備地区候補地の設定

景観重点整備地区候補地として、特色ある界隈景観地区、テーマ性のある眺望景観地区、田原をイメージさせる農地地区を以下に示します。



【景観重点整備地区（候補地）位置図】

特色ある界隈景観地区	エリア名
①田原城跡周辺地区	まち（市街地）
②三河田原駅周辺地区	まち（市街地）
③福江城坂周辺地区	まち（市街地）
④赤羽根地区	まち（市街地）
⑤白谷清水地区	まち（集落地）
テーマ性のある眺望景観地区（田原市の重要な眺望景観）	エリア名
蔵王山※	—
⑥伊良湖岬地区	まち（集落地）
田原をイメージさせる農地地区	エリア名
⑦サンテパーク地区	農・まち（集落地）

※蔵王山は田原市のランドマークであり、全市的な景観を望める優れた眺望景観を有しています。蔵王山の展望台は視点場としては高所にあり、そこから眺める風景は、都市全体を見渡すことができます。

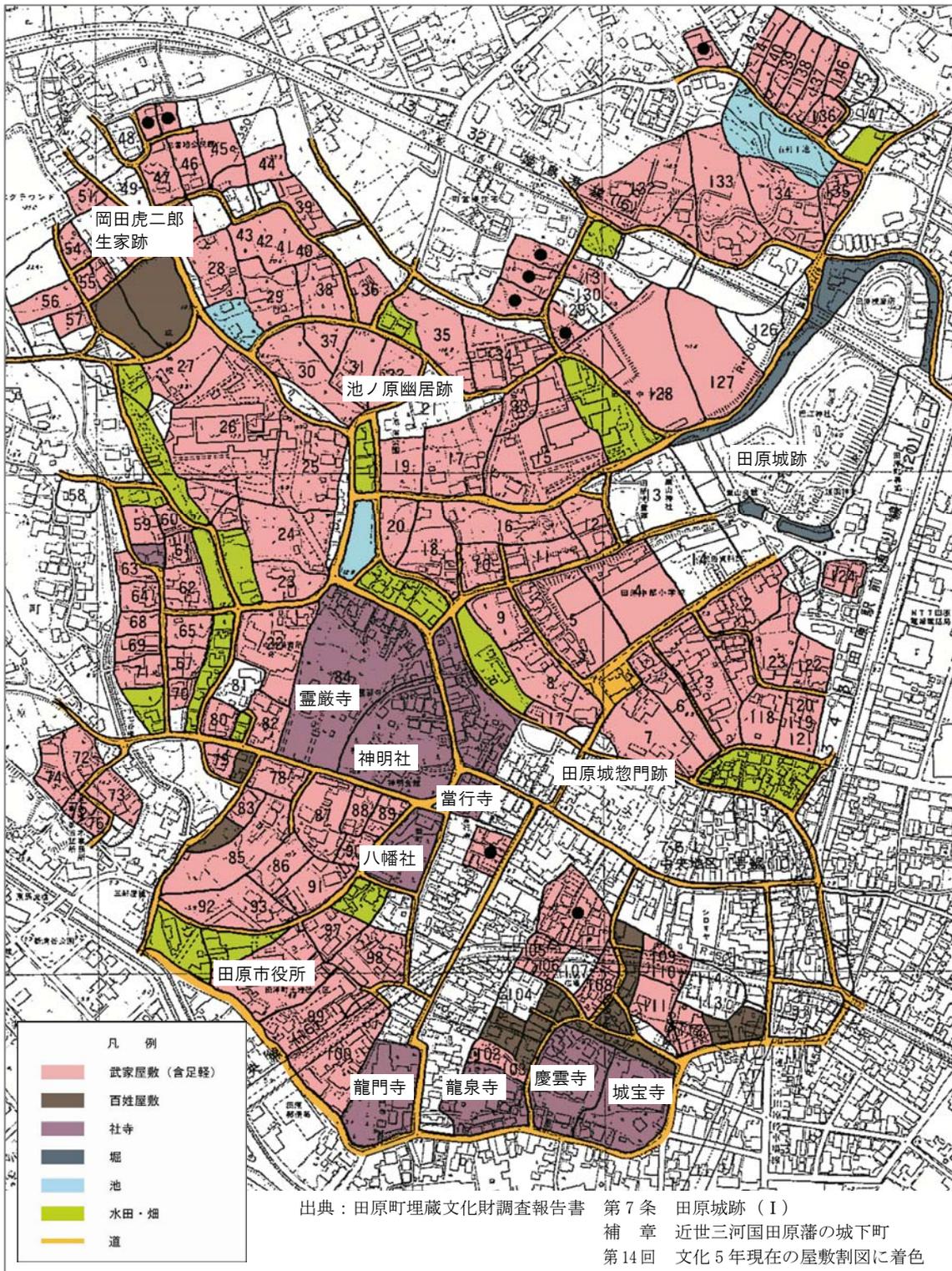
蔵王山はそのような場所であるため、展望台周辺を景観重点整備地区として位置付け、きめ細かなコントロールを実施していくことはあまり必要ではなく、むしろ市全体の景観をコントロールすることが重要であるため、景観重点整備地区候補地としての設定は行わないこととします。

(2) 景観重点整備地区候補地別景観形成の方向性

田原城跡周辺地区

【地区の概況】

田原藩の城下町の地図と現在の地図を重ね合わせると、当該地区には曲尺手の道路や田原城跡、武家屋敷跡、寺下通り等があり、城下町景観を一部感じさせるものが残っていますが、それらも近年の都市化の進展により失われつつあります。



【良好な景観形成のための方向性】

地区名（仮称）	方向性	想定される基準項目（案）
田原城跡 周辺地区	城下町としてまとまった緑（樹林）や生垣、古い趣きを持った建物は保全し、古い道沿いの建物については、歴史的な地区に調和するよう形態意匠のルール化による落ち着いたまち並みの形成や趣きづくりを図る。また、城下町を散策しやすいように適切な案内及び誘導サインの設置を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物高さの最高限度 ・建物の色彩 ・屋根形状 ・垣柵 ・緑化 ・屋外広告物



田原城跡



田原城跡



曲尺手の道路



旧武家屋敷の趣きのある建物



寺下通りの寺院



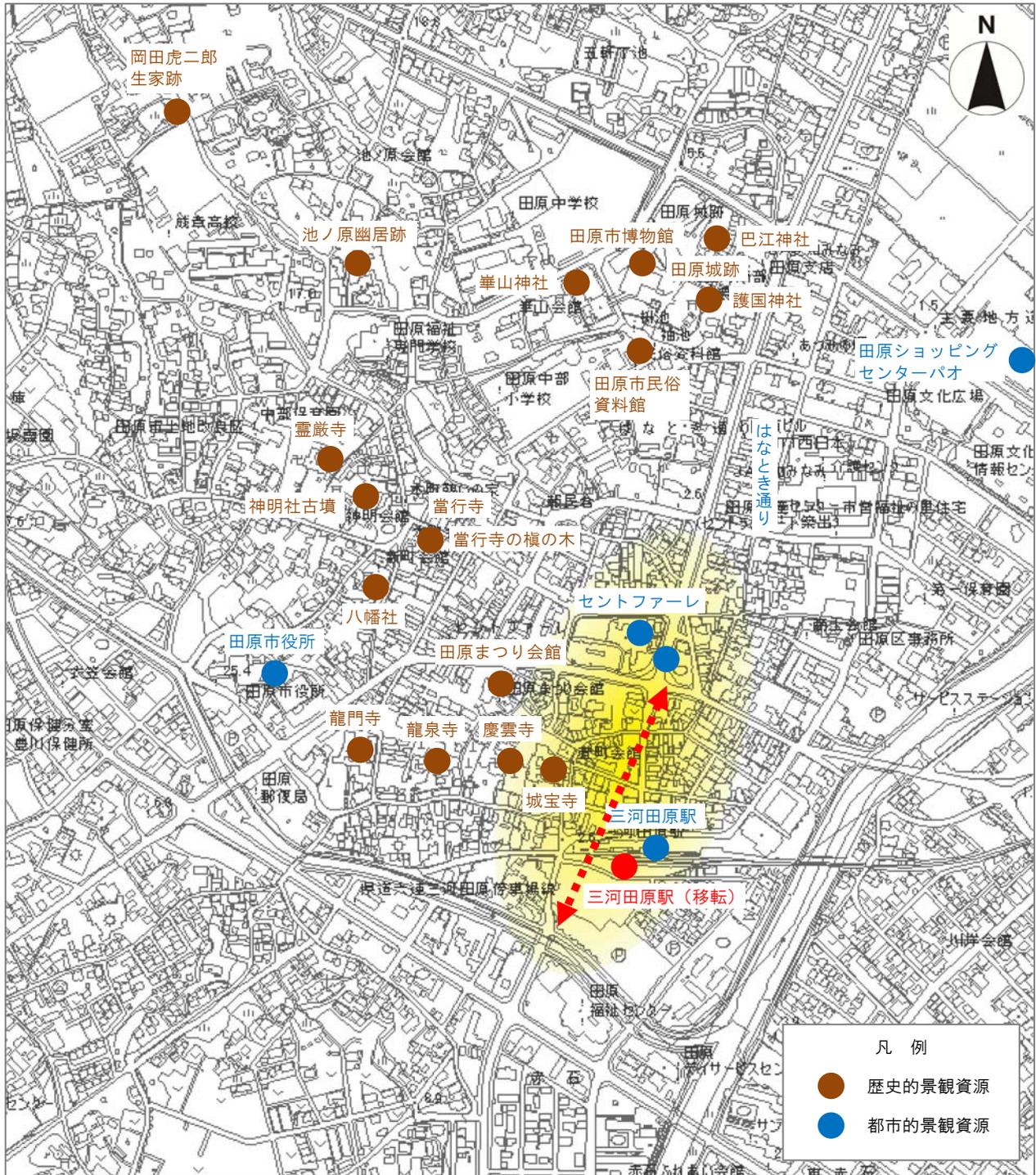
築地塀風の公園外構

三河田原駅周辺地区

【地区の概況】

三河田原駅周辺は、南側には汐川が流れ、はなとき通りや、寺下通りに近接している地区です。

現在駅周辺の整備及び都市計画道路の整備が進められており、新たな駅前空間にふさわしい良好な景観づくりを進める必要がある地区です。



※新三河田原駅駅舎及び都市計画道路は整備中

【良好な景観形成のための方向性】

地区名（仮称）	方向性	想定される基準項目（案）
三河田原駅 周辺地区	中心市街地としてふさわしい地区となるよう屋外広告物のルール化や、緑化の推進、ファサードのルール化、駐輪場の整序など、緑豊かで魅力ある景観形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の色彩 ・ファサードの形態意匠 ・緑化 ・屋外広告物



三河田原駅駅舎（計画図）



整備中の都市計画道路



整備中の駅前広場



駅周辺の住宅



駅に隣接する工場



はなとき通り（私有地の緑化）

福江城坂周辺地区

【地区の概況】

城坂周辺には、陣屋跡や趣きのある建物、常夜灯などの歴史的な景観資源が分布しています。しかし、趣きのある古い建物は老朽化等により取り壊されており、また、市街地内の空地も増え当時の趣きが失われつつあります。

そのため、福江地区では、まちづくり活動へ高い意識を持った団体が誕生しており、景観まちづくりが実践される可能性が高い地区です。



大正7年（1918年）当時の福江地区

【良好な景観形成のための方向性】

地区名（仮称）	方向性	想定される基準項目（案）
福江城坂 周辺地区	港町の特徴をもった地区となるよう城坂周辺の趣きのある建物の保全を行うとともに、建て替え時における建物のルールを設定するなど、歴史を感じさせる空間づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物高さの最高限度 ・建物の色彩 ・屋根形状 ・垣柵 ・緑化 ・屋外広告物



城坂・右側の擁壁は長七たたき（人造石）



落ち着いた雰囲気でもリニューアルされた
福江市民館（写真手前は陣屋跡・公園予定地）



趣きのある建物



趣きのある建物



福江市民館からの眺め



空地

赤羽根地区

【地区の概況】

赤羽根地区には農漁村集落特有の大きな門長屋や、高い生垣、細い路地などの特色ある集落景観を有していますが、一部で空家や建物の老朽化等が見られるため、古い町並み景観の保全が必要です。



大正10年（1921年）当時の赤羽根地区

【良好な景観形成のための方向性】

地区名（仮称）	方向性	想定される基準項目（案）
赤羽根地区	防災性と生活利便性に配慮して、狭い路地の修景や、趣きのある古い建物の保全と建て替え時の建物のルール化により、落ち着いた市街地（農村集落）づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物高さの最高限度 ・建物の色彩 ・屋根形状 ・生垣 ・緑化 ・屋外広告物



趣きのある建物



大きな門長屋



狭い路地



生垣と細い路地



高い生垣



海食崖（ほうべ）の眺め

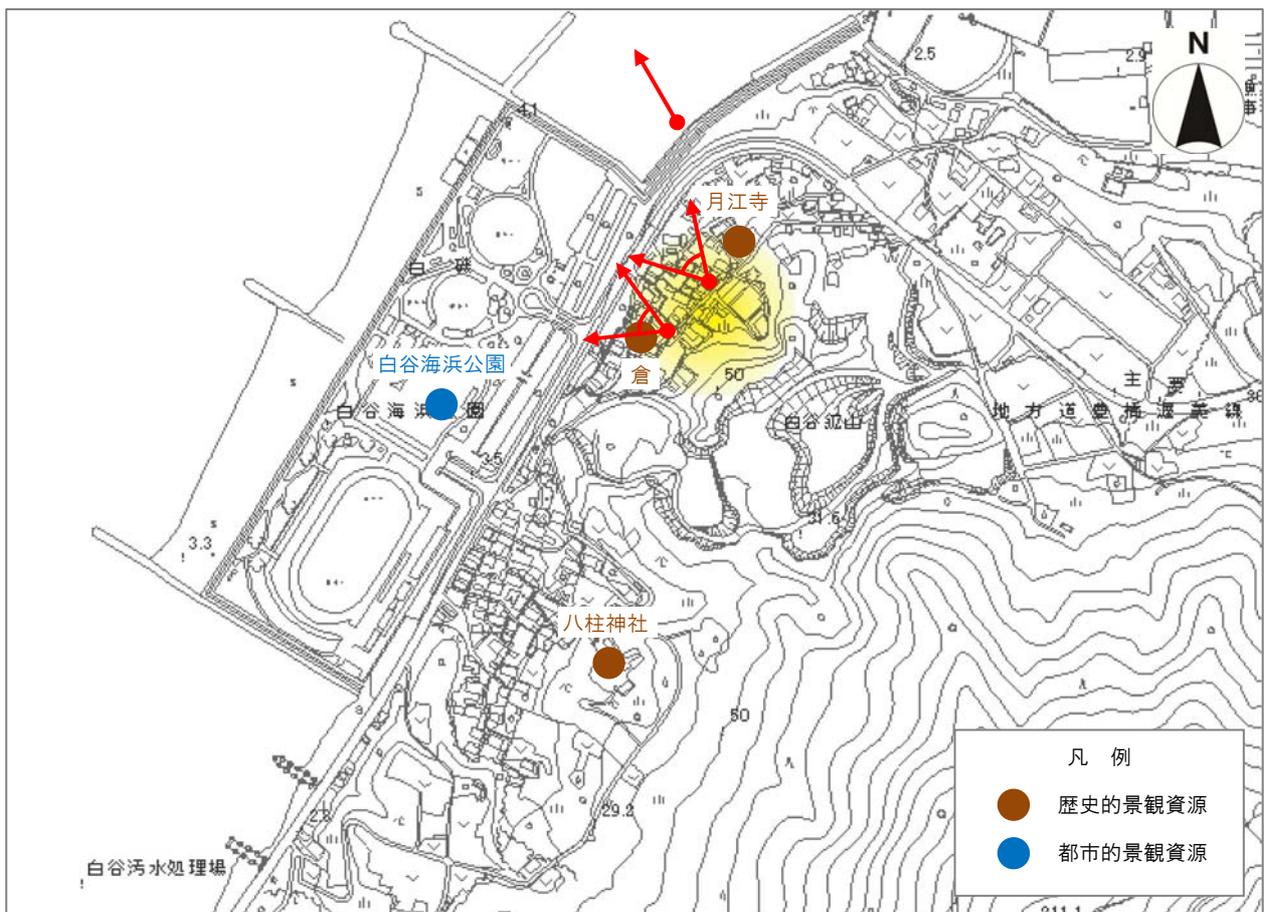
白谷清水地区

【地区の概況】

白谷清水地区は三河湾への眺めが良く、地区で産出される石灰岩の石積みが残りに、海に対して妻入り※の建物配置となっている風情溢れる集落ですが、地区に残る趣きのある古い建物や蔵などは老朽化しつつあります。

当該地区は、田原市の良好な景観を有している地区の中でも、歴史的な建物や三河湾を眺望できる地区であるため、それら特徴的な街並み景観の保全が必要です。

※建物の妻（短辺）側に入り口を設けて、正面とする建築様式



【良好な景観形成のための方向性】

地区名（仮称）	方向性	想定される基準項目（案）
白谷清水地区	防災性と生活利便性に配慮しながら、特徴的な風情の景観保全を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物高さの最高限度 ・建物の色彩（黒壁） ・切妻瓦葺きづくり ・妻入りの建物配置 ・垣柵・緑化 ・屋外広告物



石灰岩の石積みの上の倉



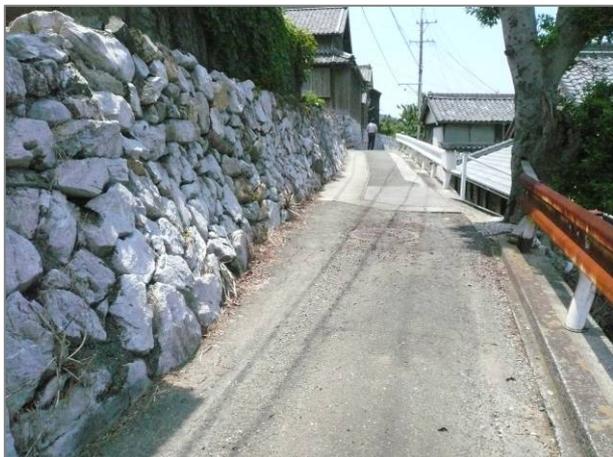
地区の眺め



坂に建つ趣きのある建物



海への眺め



石灰岩の石積み



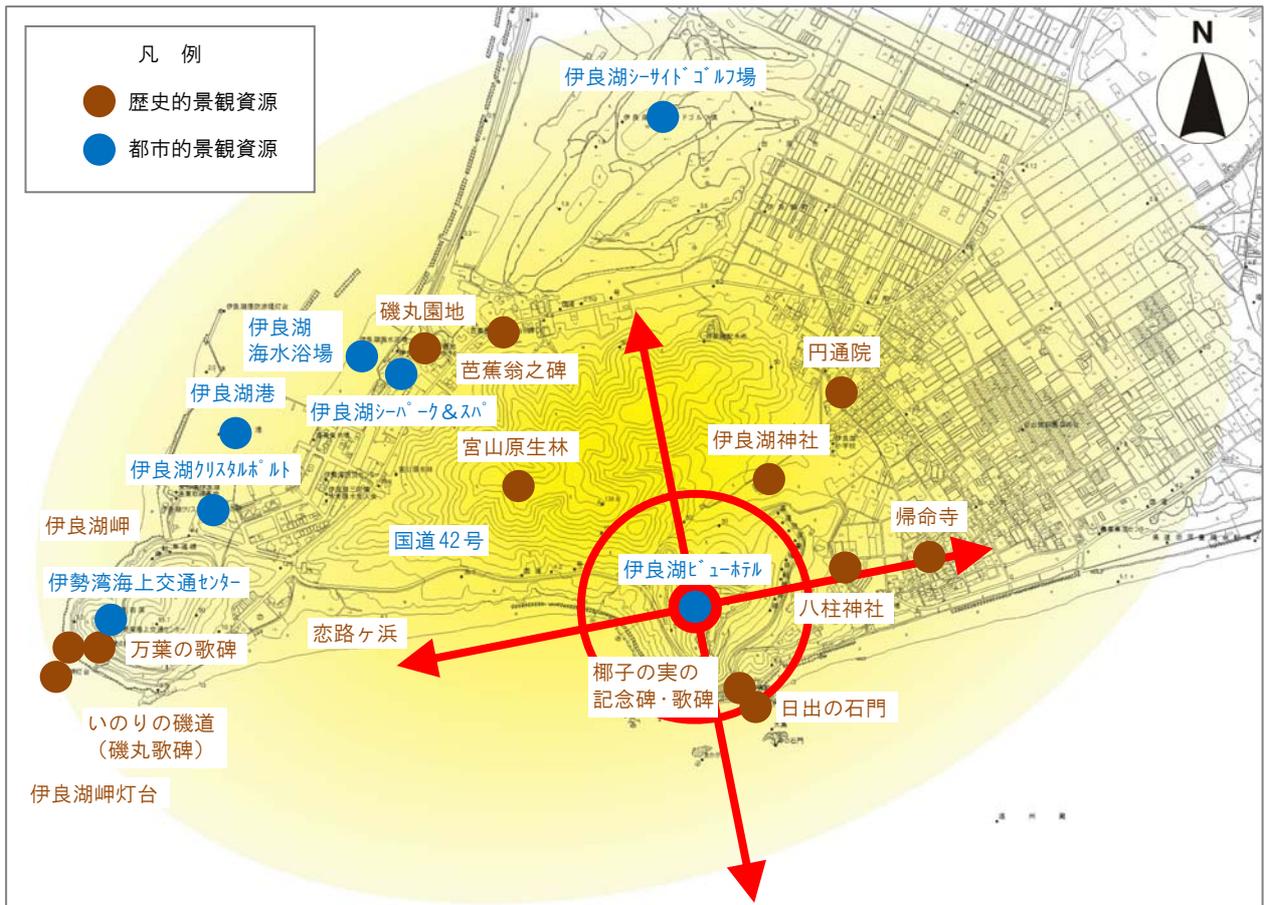
海側からの眺め

伊良湖岬地区

【地区の概況】

伊良湖岬は三河湾国定公園にも指定されており、雄大な太平洋と山並みを見ることができますが、視点場としては低く、周辺の眺望景観には配慮が必要です。

そのため、日出町や伊良湖町の集落地内の景観保全及び良好な住環境の創出が必要であるとともに、伊良湖岬への眺望と伊良湖岬からの眺望景観の保全が必要です。



伊良湖岬地区（平成21年）



【良好な景観形成のための方向性】

地区名（仮称）	方向性	想定される基準項目（案）
伊良湖地区	田原市の観光拠点として、伊良湖岬、太平洋、伊勢湾等の美しい眺望景観の保全と、集落地内の景観保全及び良好な住環境の維持を図るために、自然と調和した集落地内の景観づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物高さの最高限度 ・建物の色彩 ・屋根の色彩 ・屋根形状 ・緑化 ・屋外広告物



日出町周辺



低層のまちなみ



海沿いの駐車場からの眺め

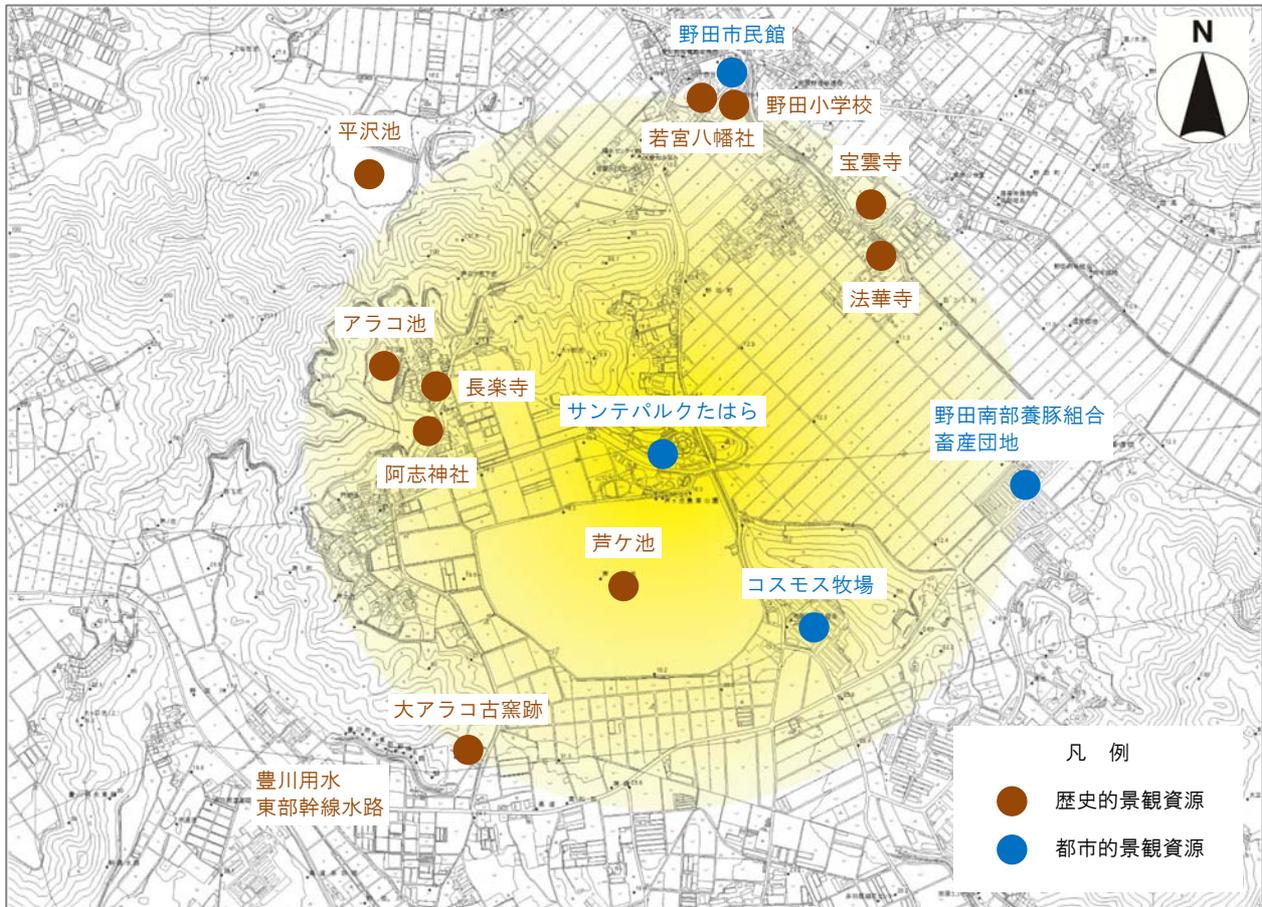


伊良湖町周辺

サンテパーク地区

【地区の概況】

田原らしい広がりのある農地景観や低層の趣のある農村集落がある地区です。また、観光施設としても人気のあるサンテパークたはらがあることから、市内外の多くの人の目にとまる地区であるため、田原らしい農地景観のモデル的な地区として保全が必要です。



芦ヶ池周辺 (平成 21 年)

【良好な景観形成のための方向性】

地区名（仮称）	方向性	想定される基準項目（案）
サンテパーク 地区	<p>広がりのあるまとまった農地景観の保全、区域内の農村集落景観の維持、芦ヶ池については自然な景観に調和するような景観形成を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物高さの最高限度 ・ 建物の色彩 ・ 屋根形状 ・ 屋外広告物



サンテパークたはら



サンテパークたはら内の花壇



豊川用水の大きな調整池（芦ヶ池）



芦ヶ池の眺め



広がりのある田園



周辺の趣きのある農村集落